連合埼玉

VOL.353 2021年7月1日

発 行 日本労働組合総連合会埼玉県連合会(連合埼玉) 発行人 平尾 幹雄

〒330-0064 さいたま市浦和区岸町7-5-19(あけぼのビル2F) TEL048-834-2300(代表)毎月1日発行(関語料は会費に含む)



☆政策フォーラム

☆政策フォーラム 分科会

☆メンタルヘルス研修会(応用)/全国一斉集中労働相談ホットライン

☆2021春季生活闘争 第6回集計結果

☆オルガナイザー研修会(養成)/組合役員教育プログラム

☆連合寄付講座(淑徳大学)/ネット21評議員会

🚰 ☆7月の行動日程/フードパントリー

☆あけぼのビル

2021年度政策フォーラムを開催!

~政策立案・実現に向けて~

6月10日(木)、埼玉会館にて「2021年度政策フォーラム」を開催しました。当日は、執行部・構成組織・地域協議会役員、推薦議員など96名の参加をいただき、活発な議論がなされました。

当日は、午前中にウィルチェアラグビー元日本代表の三阪 洋行氏を招き、「違いを受け入れ世界を変える」というテーマで講演をいただきました。



三阪氏は、高校生当時のラグビー練習中の事故により頸髄を損傷し、車いす生活となり、入院中に車いすラグビーと出会い、4年後には最年少で日本代表に選出され、活躍された方です。実績としては、2004年アテネ・2008年北京・2012年ロンドンと3大会連続でパラリンピックへ出場し、ロンドン大会では副将を務め、4位入賞を果たすなどチームの勝利に貢献してきました。



A分科会の報告をする沼尻副会長



B分科会の報告をする小林副会長

講演では、冒頭にウィルチェアラグビー競技についての説明があり、競技用車いすは障がい度合により違いがあることや障がいに差があっても平等に競技を楽しむためにクラス分けがされていることなど、はじめて知る内容もありました。



三阪洋行氏

また、高校生当時にラグビー練習中の事故により車いす生活となり、ウィルチェアラグビーで功績を上げるまでの気持ちの変化や実体験をつうじて、

- ○違うことは悪いことではなく、変えられない違いを 認識するとともに同じになる必要はないという考え を持つことが必要である。
- 〇自分の違いを知り、違うことをさらけ出し、自分のことを知ってもらうことが必要である。
- ○互いに補い合って「できる」を増やし、違いを受け入れ理解し、同じゴールをめざすことが必要である。 ということを話されていました。

最後に、新型ウイルス感染症の影響により、パラリンピックの開催が危ぶまれている中で、選手の気持ちを思い、感極まる場面もありました。

そして、午後からは、4つのテーマを設定し、分科会をおこない、抱える課題やめざす方向性などについて議論を深めていただきました。



C分科会の報告をする髙井副会長



D分科会の報告をする金谷副会長

2021年度政策フォーラム 分科会

A分科会

テーマ: 「持続可能な水道」の実現に向けて

~私たちの地域の水道はどうあるべきか~

講 師:全日本水道労働組合 書記次長 辻谷 貴文 氏

現在、我が国における水道普及率は97.9%に達し、水の供給責任は地方自治体が負うものとされており、水道事業は市町村単位で経営されている。そのような中、水道を取り巻く情勢は、①人口減少の進展に伴う水道収益の減少 ②法定耐用年数を迎える管路設備の更新需要の急激な増加 ③多発する自然災害への対応など、水道事業の経営基盤強化が喫緊の課題となっている。そのような中、全日本水道労働組合書記次長 辻谷 貴文氏を招き、〇水道をとりまく状況 〇水道法改正そしてその後 〇コロナ禍の水道 〇これからの水道はどうあるべきか 〇水道をきっかけに地域の公共を考えるなど、多岐にわたる内容について講演をいただいた。本分科会をつうじ、法制度の課題や水道を取り巻く情勢・課題に対する認識が深められ、埼玉県および市町村要請に繋げられる内容となった。



テーマ: 障がい者雇用の現状と課題

~新型コロナウイルスへの対応を契機に考える~

講 師:埼玉県立大学副学長・高等教育開発センター長 朝日 雅也 氏

埼玉県の障がい者雇用は、年々実雇用率が増加しており、2020年には2.3%となり、全国の実雇用率を上回る状況にある。しかしながら、新型ウイルスの影響により有効求人倍率が低下する中、障がい者雇用に対する関心が低下している状況にある。本分科会では、障がい者雇用を取り巻く環境と新型ウイルス感染症による影響を埼玉県立大学の朝日 雅也教授より講演をいただいた。講演の中では、2021年5月の障がい者の新規求人数が前年同月比36.1%減少しており、採用1年後の職場定着率では、精神障がい者は、49.3%と他の障がい者と比べると大幅に低くなっている実態が紹介された。障がい者の定着率向上には、仕事や企業とのマッチングだけでなく、職場の仲間の理解が重要であり、企業だけでなく職場や社会全体が関心を持ち、理解することが必要との課題提起がされ、その後意見交換をおこなった。



テーマ: 埼玉県内に広がるパートナーシップ宣誓制度 ~自分らしい生き方を貫ける社会をめざし~

講 師:レインボーさいたまの会 共同代表 鈴木 翔子 氏 事務局長 大澤 由季 氏

さいたま市では、2020年4月1日からパートナーシップ宣誓制度がスタートした。県内でもこうした制度が徐々に広がりつつあるが、性的少数者の理解促進と支援に取り組んでいる「レインボーさいたまの会」共同代表の鈴木 翔子氏、事務局長の大澤 由季氏より県内各市町村のパートナーシップ制度を求める請願採択の状況や、現状の制度の課題・問題点を講演いただいた。参加者から、「パートナーシップ制度の適用は愛し合うカップルであることが前提か」。「同姓でないカップルも認められるのか」。「事実婚とパートナーシップ制度の違いは何か」といった質問が出された。また参加者の労働組合の取り





テーマ:「仕事付き高齢者住宅プロジェクト」の可能性

~高齢者への新しい支援のあり方~

講 師:社会福祉法人 伸こう福祉会

業績管理室室長兼サービス付高齢者向け住宅施設長 中村 洋平 氏

組み事例なども報告しあい、差別や偏見のない人権尊重社会の実現に取り組んでいくことを確認した。

きっかけは「年金のほかに収入があれば・・・」などの高齢者の声である。仕事を与え、「生きがい」を感じて生活することで気力が高まり、健康寿命を延ばすことができる。具体的には、東レの高床式砂栽培を活用することで屈まず車いすでも定植・種まき・収穫が可能となり、イオン藤沢店で販売会を実施した。効果計測によると、入居者間のコミュニケーションが活発となり、活気が高まり、新たなアイディアが出るようになった。重要なのはリクリエーションではなく、仕事として取り組み、個人の「意志」を尊重することである。また、厚生労働省ではなく、経済産業省を窓口としたことで、スピード感をもって事が進んだという報告があった。



働きやすい職場の実現に向けて

~ メンタルヘルス研修会(応用編)開催 ~

5月28日(金)、構成組織・加盟組合役員や企業の労務担当者など24名の出席を得て、メンタルヘルス研修会(応用編)を開催しました。今回の研修会は新型ウイルス感染防止の観点からZOOMを使用したオンラインセミナーとして実施しました。

冒頭、竹内副会長から「職場でのメンタルヘルスは、 テレワークの普及により新たな働き方からも取り組み が必要と考える。本日は労働組合だけでなく企業の労 務担当者にも参加をいただいており、本日学んだこと を労使で取り組んでいただきたい」と挨拶がありました。 その後、ビヨンドザボーダー株式会社代表で精神保 健福祉士の安藤 亘氏から「職場のメンタルヘルス〜働き安い職場の実現に向けて〜」と題し、講演をいただきました。講演の中では、これまで精神保険福祉士としてメンタルヘルス対策に取り組んできた事例をもとに、職場での対応や専門医の選び方、復職プログラムの参考事例などをケースワーク交えながらご講演いただきました。

連合埼玉では、9月10日に基礎編を開催予定です。 今後も職場のメンタルヘルス対策に向け、研修会を開催していきますので、皆様のご参加をお待ちしております。



講義する安藤 亘氏



挨拶する竹内副会長



オンライン配信会場

~仕事で悩むあなたを応援(サポート)します!~

女性のための全国一斉集中労働相談ホットライン

連合はより多くの人たちからの相談を受け取るとともに、現状や課題を社会へ発信することを目的に年3回(2・6・12月)「全国一斉集中労働相談ホットライン」を実施しています。今回は女性を対象に「仕事に悩むあなたを応援(サポート)します!」を統一テーマに掲げ、6月8日(火)・9日(水)の二日間、10時~19時に実施しました。

6月は通常とは異なり、対応は女性委員会の協力いただき、3時間ごとに2名体制で延べ12名の幹事が対応しました。事前勉強会を受け、当日はアドバイザーからのサポートを受けながら相談者の悩みに応えました。

初めは緊張の面持ちで電話を受けていましたが、終了後には「よい経験となりました」という感想をいただきました。理由は「就職した時から当たり前と思っていましたが、労働組合が無くて困っている人がこんなにもいることを知った」という言葉が代表するように、労働組合がある安心感や安定感を実感したからだと思います。

.....

二日間の相談件数は8日に12件、9日に8件の計20件となりました。今回の労働相談ホットラインは、相談者はもちろんのこと、幹事にとっても貴重な経験となりました。



労働相談の様子



助言を受けながら対応する



相談内容を記録する

連合:2021春季生活闘争 第6回答集計結果(6月1日現在)

連合は6月4日(金)、2021春季生活闘争第6回回答集計結果を公表しました。

【概要】

○働き方の見直しの具体的内容が明らかに

総労働時間の短縮、勤務間インターバル制度の導入、テレワーク制度にかかわる規定と手当等の新設、65歳までの定年制の延長、職場におけるハラスメント対策など、職場の実態に応じた様々な取り組みが前進した。

○第6回回答集計においても、賃上げの流れは継続

月例賃金改善を要求した 5,655 組合(昨年同時期比 498 組合増)のうち、4,275 組合(同 67 組合増・解決率 75.5%)が妥結し、賃上げ要求・妥結ともに昨年同時期を上回った。妥結内容が確認できる 2,460 組合のうち 48.1%が賃金改善分を獲得、98.4%が定昇相当分を確保しており、賃上げの流れは 継続している。

※回答集計結果は、連合埼玉HPに掲載しておりますので、ご確認ください。

1. 賃金引上げ 〈第6回回答集計結果(6月4日公表)〉

平均賃金方式(集計組合員数による加重平均)

	2021要求(2021年6月4日公表)				2020要求(2020年6月5日公表)			
	集計組合数	定昇相当込	み賃上げ計	<i>昨年対比</i>	集計組合数	定昇相当込み賃上げ計		
平均賃金方式	集計組合員数	額	率		集計組合員数	額	率	
	4,732 組合	7 017	2.76 %	▲ 1,026 円	4,958 組合	8,843 _円	3.09 %	
	2,550,043 人	7,817 _円		▲ 0.33 жгы	2,807,178 人			
300人未満 計	3,499 組合	7 1/12	2.88 %	▲ 894 円	3,580 組合	8,036 _円	3.26 %	
300八木川 訂	330,071 人	7,142 _円		▲ 0.38 жгэг	351,234 人			
~99人	2,139 組合	7 212	3.08 %	▲ 782 円	2,107 組合	7,994 _円	3.43 %	
337	89,616 人	7,212 _円		▲ 0.35 #121	90,018 人			
100~299人	1,360 組合	7 116	2.82 %	▲ 935 円	1,473 組合	g 051	3.20 %	
100 - 2997	240,455 人	7,116 _円		▲ 0.38 #121	261,216 人	8,051 _円		
300人以上計	1,233 組合	7 022	2.75 %	4 1,040 円	1,378 組合	9.062	2.07	
2007\W_ ii	2,219,972 人	7,922 🖽		▲ 0.32 #121	2,455,944 人	8,962 円	3.07 %	
300~999人	827 組合	7 200	2.75 %	▲ 1,039 円	927 組合	8,347 _円	2 15	
300-3337	446,518 人	7,308 _円		▲ 0.40 #121	498,410 人		3.15 %	
1,000人~	406 組合	2 N22	2.75 %	2.75	▲ 1,040 円	451 組合	0 122	2.05
1,0007(**	1,773,454 人	8,082 円		▲ 0.30 #121	1,957,534 人	9,122 _円	3.05 _%	

^{※2021}年と2020年で集計対象組合が異なるため、「定昇相当込み賃上げ計」の昨年対比は整合しない

2. 非正規労働者賃金引上げ 〈第6回回答集計結果(6月4日公表)〉

		2021	2021要求(2021年6月4日公表)			2020要求(2020年6月5日公表)		
時給		集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	平均時給 (参考値)	昨年対比	集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	平均時給
	単純平均	443 組合	36.44 円	1,053.97 円	▲ 5.69 円	369 組合	42.13 円	1,046.85 円
	加重平均	883,912 人	36.69 円	1,059.71 ⊞	▲ 5.18 円	782,641人	41.87 円	1,041.39 🖽
月給		集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	率(参考値)	昨年対比	集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	率 (参考値)
	単純平均	187 組合	6,391 円	2.98 %	▲ 594 円	171 組合	6,985 ⊞	3.42 %
	加重平均	62,832 人	6,940 ⊞	3.19 %	19 円	42,167人	6,921 ⊞	3.31 %

組織拡大の具体的事例とオルガナイザーの役割を学ぶ

オルガナイザー研修会(養成講座)を開催

2030年までの10年間、徹底的に拡大にこだわるという「連合組織拡大プラン2030」を踏まえ、6月17日 (木)埼玉会館において「オルガナイザー研修会(養成講座)」を開催しました。

近藤会長の開会挨拶の後、連合本部からお招きした 江口 実中央アドバイザーから、「組織拡大の具体的事例」の講義がありました。

江口氏の長年の経験を踏まえ、①組織化における社会的背景、②組織化の基本ステップ、③組織拡大業務の本質と連合・産別の役割分担、④産別による3つのアプローチについて説明を受けました。

数々の印象的なフレーズがありましたが、中でも講 義の冒頭に語られた「組織化が目的になってはいけな い。組織化はあくまで手段であり、組合を作ることで企業を強くしていかなくてはいけない」というメッセージが強く印象に残りました。

本部方針により、残念ながらオンライン講義となった山田 清秋中央オルガナイザーからは、「組織拡大の取り組みとオルガナイザーの役割」というテーマでチャート図を使った一般未組織企業を題材とした講義がありました。

資料には企業内未組織労働者、関係会社(子会社・ 関連会社)の進め方も記載されており、巻末には結成 大会の開催方法についても触れられています。この資料は今後、「組織拡大の手引」として活用されること しょう。



会場で講義する江□中央アドバイザー



オンラインで講義する山田中央オルガナイザー



全体講評をする谷内副会長

組合役員としての基本的役割と知識を身につける

組合役員教育プログラム(基礎講座)開催

5月15日(土)から26日(水)まで、組合役員教育プログラム基礎講座全8講座をWEB(ZOOM)で開催しました。各冒頭では土曜日は金谷副会長、水曜日は平尾事務局長から挨拶と研修ポイントの説明を受け講座をスタートしました。

受講者数は昨年の127名から162名と大幅に増加し、理由としては、移動時間が掛からないことが想定されます。一方、ブレイクアウトルームを活用したものの、人材交流という面にでは課題が残りました。こうした成果と課題を踏まえ、次回開催に向け運営委員会において議論を進めてまいります。



開講挨拶をする金谷副会長

開催日時	基礎講座 講義内容	講師
5月15日(土)	1. 労働組合の意義と機能	J.union
13:00~18:00	2. 組合役員の立場と役割	大川 守
5月19日(水) 13:00~18:00	3. 組合役員のためのコミュニケーションカ開発①(リスニング)4. 会議の進め方①(職場討議・集会の進め方)	J.union 大川 守
5月22日(土)	5. これだけは知っておきたい労働法(労働法初級)	J.union
13:00~18:00	6. 健全な労使関係と働き方のルール(労働法中級)	池上 元規
5月26日(水)	7. 労働組合の社会的役割〜労働運動の起源	平尾 幹雄
13:00~18:00	8. 埼玉県の労働福祉運動の役割	佐藤 道明

「働くこと」と「働くルール」について考える

淑徳大学埼玉キャンパス経営学部においてオンライン授業を実施



リモート講義をおこなう 平尾事務局長

5月28日(金)、「働くこと」と「働くルール」を紹介することで、これから社会で活躍する学生の皆さんに役立ててもらいたいという思いを込めて、淑徳大学埼玉キャンパスの経営学部100名の学生を対象に「企業研究特別講義」

を実施しました。まん延防止等重点措置の期間中である ことから講師である平尾事務局長は、大学のキャリア支 援室からリモートで講義をおこないました。

働くことについて学生から、「授業でなぜ働くのかと質問をされたことがあり、報酬を得るため、社会貢献のためという意見はありましたが、努力や成果をつうじて人にほめられ、必要とされ、信頼される【人間として幸せな行為】とは考えたことがなかったので、自分の中でまた新しい考え方を増やすことができました」という感想を

いただきました。また、「労働組合や労働基準法という 言葉は聞いたことがありましたが、どのような法律でど のようなことをしているのか、なんとなくでしか知りま せんでした。私たちが公平な労働条件でのもとで働く ためにとても重要で、自分の生活や家族にも関わって いることだと実感しました」という新たな発見もあった ようです。

担当教授からは「学生のための活動もしているとは意外でした」という言葉をいただきました。

講義内容

「働くことを軸とする安心社会」の実現

- 1. 連合(日本労働組合総連合)とは
- 2. 「働くこと」について考える
- 3. 安心して働くために(労働法など)
- 4. 労働組合による就業支援活動
- 5. 若者を苦しめる奨学金問題の解決を
- 6. 新型コロナウイルスの影響

ネットワークSAITAMA21運動

「2021年度第1回評議員会」を開催!

5月25日(月)、あけぼのビル501会議室において、「2021年度第1回評議員会」を開催しました。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催となりましたが、今年度は感染防止対策を講じた上で対面式での開催となりました。

評議員会では、冒頭、二階 堂委員長より「2020年度 の活動は、様々な活動に制 約をうけながらの取り組み で、やむを得ず中止・延期の 判断を余儀なくされた1年 でありました。そのような中、



主催者代表挨拶をする二階堂委員長

何とか開催できた活動もあり、皆様のご協力に感謝申し上げます。今後も、皆さんのご協力を得ながら『自主福祉運動の新しいカタチ』をめざし、活動を邁進していきますので、引き続きのご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします」との挨拶が述べられました。

その後、「2020年度事業活動報告」「収支決算報告」「監査報告」がされ、評議員全員の拍手により承認される

とともに、今後の具体的活動内容を盛り込んだ「2021 年度事業活動計画」「収支予算」も承認されました。

今年度もNPOをはじめとする各団体と連携をはかり、「共生の地域社会づくり」をめざす運動を進めてまいります。



議長の丹羽評議員(青年委員会)



司会の村田委員



質問を述べる川村評議員 (印刷労連)



意見を述べる村田評議員 (朝霞・東入間地協)

現在予定される7月の日程表です

7月		行事等						
		連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体					
1⊟	木	第4回政策・制度委員会(13:30~・あけぼのビル)						
2日	金	2021地域活性化フォーラム(13:30~・WEB開催)						
3⊟	土							
4⊟	В		飯能市長選挙告示日					
			東京都議会議員選挙投開票日					
5日	月		埼玉地方最低賃金第1回本審(9:30~•埼玉労働局)					
6⊟	火	①第8回四役・執行委員会(10:00~・13:00~・ときわ会館)						
		②男女平等参画推進「トップセミナー」(15:30~・ときわ会館/WEB)						
7日	水	組合役員教育プログラム・スキルアップ講座⑮(13:00~・WEB開催)						
8⊟	木	オルガナイザー研修会(実践)(10:00~・埼玉会館)						
9⊟	金							
10⊟	±	組合役員教育プログラム・スキルアップ講座⑯(13:00~・WEB開催)	埼玉労福協「3.11を忘れない埼玉集会2021」(13:30~16:30・ときわ会館)					
11⊟	B		飯能市長選挙投開票日					
12日	月							
13⊟	火							
14⊟	水	組合役員教育プログラム・スキルアップ講座⑰(13:00~・WEB開催)						
15⊟	木		埼玉労福協「福祉フォーラム2021」(13:30~・ときわ会館)					
16⊟	金	議員会議「県内視察研修会」(9:00~・深谷市内)	J P 労組「第14回定期総会」					
17⊟								
18⊟	B							
19⊟	月							
20日	火	①ネット21「第3回運営委員会」(10:00~・あけぼのビル) ②青年委員会「幹事会」「推薦議員との意見交換」(18:00~・さいたま共済会館)	比企地域協議会「第4回幹事会」(18:00~・ボッシュ労働組合)					
21⊟	水	組合役員教育プログラム・スキルアップ講座⑩(13:00~・WEB開催)	川□・戸田・蕨地域協議会「第4回幹事会」(18:30~・友愛センター)					
22日	木							
23日	金							
24⊟	±							
25⊟	В							
26⊟	月							
27⊟			秩父地域協議会「第10回幹事会」(18:00~・勤労者福祉センター)					
28⊟		官公労部門連絡会「第5回幹事会」(18:30~·WEB開催)	①2021年度「第2回地域労福協代表者会議」(13:30~・ときわ会館) ②2021年度「第2回政策制度会議」(15:00~・ときわ会館)					
29⊟	木							
30⊟								
31⊟	±							

埼玉県立大学在学生に対する食糧品支援を!

~フードパントリーの実施~

連合埼玉は、6月4日(金)に埼玉労福協・フードバン ク埼玉などの支援団体とともに、埼玉県立大学在学生

に対して、食糧品184袋 の支援(フードパント リー)をおこないました。

冒頭、連合埼玉の近藤 会長より埼玉県立大学星 学長へ目録の贈呈をおこ



学長へ目録を手渡す近藤会長

ない、星学長からは「学生が、新型ウイルス感染症の影 響により、バイトなどが制限され、生活にも影響を及ぼ



御礼の言葉を述べられる星学長

している人が多くなって いる。そのような中で、今 回の支援は助かります! との挨拶がありました。

その後、事前に申し込 みをいただいた在学生に

対して、食糧品の入った袋を 手渡しました。

食糧品を手にした学生から は、「こんなに入っているとは 思わなかった」「バイト先がな く生活が苦しい中で助かりま す」などの声が聞こえました。

今回の支援は、4月29日 (木)に開催した「埼玉大学在



在学生へ食糧品を手渡す 近藤会長

学生へのフードパントリー」に続く、2校目の支援とな



埼玉県立大学の皆様との記念写真

りましたが、大学生に与 える新型ウイルス感染 症の影響は計り知れな いと改めて痛感いたし ました。1日も早い終息 を願うばかりです。



<包摂(ほうせつ)(インクルーシブ)な社会>

7月に入り、東京オリンピック・パラリンピック2020(以下、東京オリ・パラ2020)が開催される予定(執筆現在)になっています。

開催にあたっては、国民の命と暮らしを守るために、また、 海外からの参加選手、関係者の滞在期間の命と暮らしを守 るために、ぜひ、私たちが協力すべきこと、守るべきことな どを、わかりやすく示していただき、必要な支援、対策をお こなっていただきたいと思います。

東京オリ・パラ2020の中でも、連合埼玉では、東京パラリンピック2020を応援することを定期大会で確認しました。今年に入って、パラスポーツの選手、関係者をつうじたオンラインでの講演会を協賛しながら、少しでも、パラスポーツを知ってもらう取り組みをおこなっています。

IPC(国際パラリンピック委員会)が掲げるビジョンは、「パラスポーツをつうじたインクルーシブな社会創出に向けて」となっています。創意工夫を凝らして限界に挑むパラリンピックは、多様性を認め、誰もが個性や能力を発揮し活躍できる公正な機会が与えられている場所となっています。

連合では、結成30周年の節目にあたり、めざすべき社会像を策定しました。約2年前になりますが、「多様化している中で、誰一人取り残されることのない『包摂』な社会」をめざすことを確認しました。

社会的に弱い立場にある人々も含め市民ひとりひとり、排除や摩擦、孤独や孤立から援護し、社会(地域社会)の一員として取り込み、支え合う考え方が広がる、東京オリ・パラ2020であってほしいと願っています。

<「支え合う力」と「称え合う心」>

連合埼玉では、パラスポーツの紹介をつうじて、これまでも、様々な気づきを、教えて頂きました。

最近では、6月10日(木)に開催した政策フォーラムで講演を頂きました、ウィルチェアー(車椅子)ラグビーの元日本代表の三阪洋行氏からは、高校生のラグビー練習中の事故で車椅子生活となった以降、現実を受入れ、自分を受入れ、違いを受入れ、ありのままの自分を知ってもらうことだと言っていました。

そのことをつうじて、「できない」を「できる」に変える、すなわち「互いの違いを知り、違いを補って『できる』を増やす」と言っていました。まさに、「支え合う力」そのものだと、気づきをもらいました。

また、今年に入ってオンラインでのパラアスリートの講演では、盲目のブラインドランナーであり、ブラインドマラソンのチームを率いている福原良英氏の講演からは、世界をめざすブラインドマラソンも当然、毎日の練習が欠かせない。しかし、ブラインドマラソンの場合、その毎日の練習

にも、一人では練習できない。必ず、支援する伴走者が必要で、さらには、その伴走者も、フルマラソン2時間台で走るための伴走が必要と話していました。そこには、「支え合わないと、毎日が成り立たない」現実と、「誰でも支援できるものではないトップアスリート」の現実を知ることができました。

さらに、2歳の時に病気で視力を失ったパラ競泳選手の木村 敬一選手の講演では、子供たちにスイミングを教えた時のエピソードで、子供たちから、「目が見えなくて不幸だと思ったことがありますか?」と聞かれたとき、「私は、目が見える幸せを知らない。なので、目が見えないことで、不幸だと思ったことがない」とコメントしました。まさに、互いの違いを知ることの気づきにつながりました。

様々なパラアスリートをつうじて、支え合う力になることは、包摂な社会に欠かせない力だということを、改めて気づかされました。東京オリ・パラ2020で活躍する選手に、支えあう力、勇気、努力に「称え合う心」を贈りたいと思います。





さいたま市「造幣さいたま博物館と1964年東京オリンピックメダル

<東京オリ・パラ2020のメダル>

埼玉県さいたま市、JRさいたま新都心駅から、徒歩約12 分のところに「造幣さいたま博物館」があります。2016年 に造幣局の東京支局が移転して、さいたま支局として稼働 しています。また、移転に伴い、「全造幣さいたま」として、連 合埼玉の仲間に加わって頂き、ご活躍頂いています。

造幣局では、日々の通貨コインを製造していますが、叙勲などの勲章も製造しています。そして、日本国内で開催したオリンピック・パラリンピックの入賞メダルも製造しています。「造幣さいたま博物館」では、過去、日本で開催されたオリンピックのメダルが見学できます。

東京オリンピック2020のメダルのデザインは、多くの方々からご応募いただいた作品からデザインを選定しました。そして、メダルの素材については、皆さんにもご協力頂いた、「都市鉱山からつくる!みんなのメダルプロジェクト」をつうじて、使わなくなった携帯、スマホなどの小型家電を寄附して頂き、これらから集めたリサイクル金属を原材料にメダルを製作しています。新型ウイルスで1年延期された東京オリ・パラ2020の開催された時には、感染対策の下、安心・安全な東京オリ・パラ2020が開催され、様々な競技をつうじて、アスリートの首にかける賞讃の金・銀・銅メダルを「称えあう心」で見てみたいと願う。

2021.6.16

